



第59回
丸亀お城まつり

2008年
5月3・4日
土祝 日祝
ゴールデンウィーク開催

■瀬戸大橋開通20周年記念

主催 ● 丸亀お城まつり協賛会
共催 ● 丸亀お城実行委員会
後援 ● 丸亀市・丸亀商工会議所・丸亀市観光協会



3月定例会
3月3日～25日

主な内容

- 本会議のあらまし 2
- 旧年度質疑 3
- 代表質問 3～5
- 意見書 5
- 総括質疑 6～10
- 委員会審査 10～11
- 審議した議案とその結果 12

3月定例会

平成二十年度一般会計予算

三百六十五億円 原案可決

本会議の あらまし

三月定例会は三月三日から二十五日までの二十三日間の会期で開かれました。

初日には、旧年度関係議案二

十件を審議しました。委員会付託を省略し、二名の議員が質疑、

一名の議員が反対討論を行い、

起立採決の結果、賛成多数でい

ずれも原案を可決しました。

続いて、議員提出議案の市議

会委員会条例の一部改正を可決

しました。

さらに、総額三百六十五億円

の一般会計予算

など新年度議案

二十八件が上程

され、市長から

市政方針の表明

と副市長から提

案理由の説明が

ありました。

五日・六日に

は各派代表質問

があり、志政会・

市民クラブ・日

本共産党・里の

会・公明党の代

表が、市政方針

及び新年度予算

等に対して質問しました。

七日・十日・十一日には総括

質疑が行われ、十一名の議員が

質問しました。

議案等の細部にわたる委員会

審査は十三日に教育民生、十四

日に総務、十七日に生活環境、

十八日に都市経済と順次その所

管事項に基づいて行われました。

二十五日の最終日には、所管

の委員会に付託していた議案の

審査結果について、各委員長か

らいずれも原案承認の報告があ

りました。四名の議員が反対、

賛成の討論を行い、起立採決の

結果、賛成多数で委員長報告ど

おり原案を可決しました。

最後に、「地方財政の充実・

強化を求める意見書(案)」を

可決し、政府関係機関と国会へ

送付することになりました。

以上で、今期三月定例会に付

議されました案件の審議はすべ

て終了し、市長からあいさつが

あり、閉会しました。

討論

旧年度議案討論

尾崎淳一郎

①一般会計補正予算(普通財産取得費のうち一般財源分)

②競艇特別会計補正予算

(①、②に反対)

高田 重明

①一般会計予算(福祉事業団の労働者派遣事業に関連する管理運営職員派遣委託料、総合案内窓口業務アルバイト賃金、人権問題推進活動補助金、

人権同和問題県内その他交流事業費、教育・職業相談員設置事業費、保育所民営化等方針策定事業費、ごみ収集委託料、人間ドック補助制度の廃止、新学校給食センター新築

移転整備事業費、小・中学校学力調査事業費、飯山学校給食センター調理業務委託料、

亀寿園代替施設整備補助金、土器川生物公園整備事業費、

総合運動公園多目的ひろば整備事業費) ②後期高齢者医療特別会計予算③競艇事業会計

予算④国民健康保険条例の一部改正⑤後期高齢者医療に関する条例の制定

(①～⑤に反対)

新年度議案討論

横川 重行

①一般会計予算(新学校給食センター新築移転整備事業

費、飯山学校給食センター調理業務委託料、ごみ収集委

託料、総合運動公園整備事業

費) ②手数料条例の一部改正

(①、②に反対)

田中 英雄

①一般会計予算(新学校給食センター新築移転整備事業

費、飯山学校給食センター調理業務委託料、保育所民営

化等方針策定事業費、ごみ収

集委託料)

(①に賛成)

亀野 忠郎

①一般会計予算(総合運動公園整備事業費、亀寿園代替施設整備補助金) ②競艇事業会

計予算

(①、②に賛成)



起立採決の結果、原案のとおり可決

質疑

旧年度議案に対する

質問者・項目
太字の項目は本文中に
要約文を掲載

横川 重行

- ①一般会計補正予算(市税、退職手当債、公共用地取得費、繰越明許費、債務負担行為補正) ②競艇特別会計補正予算

尾崎淳一郎

- ①一般会計補正予算(公共用地取得費)

西中学校校舎改築事業の進捗状況は

横川議員 西中学校校舎改築工事については計画段階から無理があったのではないかと思いますが、今回繰越明許費が補正されている理由について。また今後の進捗や債務負担行為補正の内容についても併せて伺いたい。

教育部長 耐震強度偽装事件を受け、平成十九年六月に建築基準法等の一部を改正する法律が施行され、建築確認申請の審査の厳格化と審査項目等が大

幅に増加した。これに伴い、建築確認申請の作成や審査に多大の時間を要することとなり、工事の進行が大幅に遅れたため繰越明許費一億千七百八十万円を補正するものである。

また、債務負担行為金額の補正は、西中学校校舎改築工事の建築主体工事、電気設備工事、

土地開発公社の 用地の取得について

尾崎議員 丸亀駅北側の公用地を土地開発公社から買い戻すため六億三千五百八十万八千円が補正されている。この公用地は以前から競艇事業の送迎バスや美術館の来客用バス駐車場として利用されているが、なぜこの時期に取得するのか。取得後は競艇事業部の所管となるのであれば、その取得費用はすべて競艇特別会計から支出すべきと考えるがどうか。また土地開発公社の土地売却益精算金との関連を伺いたい。

企画財政部長 取得目的に沿って供用されている土地を土地開発公社が長期にわたり所有することは適切でない。そこで今回競艇事業が企業会計へ移行

機械設備工事などの入札金額が確定したことにより減額するものである。現在は、建築確認申請も許可され準備工事を終え、本格的な工事へと進んでおり、今後は生徒への教育環境や近隣住民への配慮をしながら平成二十一年春の完成を目指して努力していく。



丸亀駅北側の土地開発公社用地

するのを機に市が買い戻すものである。取得後は美術館も含めた駅周辺の利用計画への対応も視野に入れ、駐車場の利活用について協力を求めることも想定されるため、競艇事業特別会計からの繰入れも含め一般会計で取得することとした。それに伴い用地の取得資金として充当していた土地開発公社の土地売却益精算金を一般会計に返還するものである。

代表質問

質問者・項目

太字の項目は本文中に
要約文を掲載

志政会 香川 脩

- ①財政②身近な自然と歴史文化を未来に伝えるまち③日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまち④健康で安心して暮らせるまち⑤心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感

市民クラブ 倉本清一

- ①合併後の市としての総括②生活弱者への対策③市総合運動公園の具体的計画④都市計画⑤教育の充実⑥福祉対策⑦市民参加の施策⑧競艇事業⑨地域防災計画

日本共産党 中谷真裕美

- ①格差と貧困の問題にどう向

志政会

ナイターレース 導入に伴う課題は

香川議員 競艇事業につい

き合うのか②安全で安心して暮らせるまちづくり③行財政改革④市民参画と協働によるまちづくり⑤自治体として求められること

里の会 岡田健悟

- ①中小企業支援策の確立と市内地域経済基盤の確保②過疎、離島振興と道路特定財源の利

公明党 亀野忠郎

- ①財政問題②妊婦健診費用の助成制度③総合評価落札方式の導入及び電子入札システム④「災害時要援護者」支援対策⑤学校給食の安全性⑥住民基本台帳カードの普及促進⑦若手芸術家活動支援事業

ては新年度からナイターレース導入に向け施設整備に取り組みとのことだが、今後実施に当たっての課題等はないのか。また完成までのスケジュールや中長期的な収益見込みも示していた

だきたい。次に新年度開催予定の全日本選手権競走の開催日程、売上目標及び実施計画等について伺いたい。

▲競艇事業部長 ナイターレースの事業化に際しては漁業関係者への工程上の留意や照明の漏光対策、地元住民に対する騒音、交通、防犯等の対策を講じなければならぬ。また運営面では、風による中止、順延の少ない競艇場となるよう防風対策の強化が必要となる。ナイターレース実施による売上効果は、毎年約五億円から六億円程度の利益を見込んでおり、中期的展望では経営の安定化、市財政に貢献できる体質に転換できると考えている。今後の予定であるが本年八月末までに基礎工事、

来年の春ごろには鉄塔、照明設備工事等を完了し、その後照明や航走の試験を行い、平成二十一年七月実施を目標としている。

次に新年度開催するSG競走全日本選手権競走は、平成二十年十月八日から六日間開催し、売上目標は約百四十四億円、開催収益は約二億円と見込んでいる。実施計画は新年度に入り策定することになるが、丸亀競艇へのファン拡大や業界への寄与ができるよう策定したいと考えている。

市民クラブ

特定健康診査の受診者負担額は

◎倉本議員 特定健診では身体計測や血液検査の項目におい



ナイターレースに向け施設整備します



自分にあった運動をして健康に

などの原因となることを詳細にデータで示すことができる。受診者にとっては生活習慣と健診結果や疾病発症との関係が理解しやすく、生活習慣の改善に向けての明確な動機づけができるものである。また特定健診に係

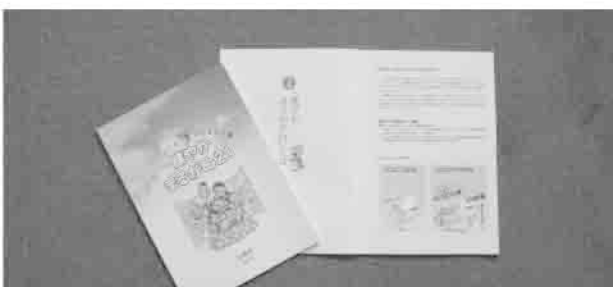
て特定保健指導の対象となる基準が示されている。腹囲は男性が八十五センチメートル以上、女性は九十センチメートル以上となっており、本当にこの項目が正しいのか。脂質や血圧等についても設定されている基準数値で問題はないのか伺いたい。また特定健診の自己負担額は幾らになるのか。

▲生活環境部長 メタボリックシンドロームに係る各種数値については日本内科学会が合同で、これまでの経験をもとに診断基準として示している。この数値を特定健診に導入することにより、内臓脂肪の蓄積や体重増加が動脈硬化を引き起こし、心臓血管疾患、脳血管疾患

る経費は、国、県、市がそれぞれ三分の一の負担となっているが、市の負担分については国民健康保険税と受診者の自己負担で賄うこととなっている。自己負担額については、国民健康保険税との均衡を保ちながら設定することとなり、県下統一で実施する健診単価のおおむね一割の千円前後に落ちつくものと考えている。

日本共産党 健康づくり推進の 基本的な姿勢は

◎中谷議員 県が本年八月から重度心身障害者、母子家庭を対象の医療制度に一部自己負担



健康づくりは市民が主役です

金を導入しようとしている。県の有料化に対応して市が無料にしていこうと求めるが見解を伺いたい。また平成二十年度から健診の制度が大きく変わるに当たり、健康づくりについての基本的な姿勢を伺いたい。

次に、市政方針では健康増進計画の着実な推進や各種検診の受診向上に取り組みとなっている。具体的にどのような受診促進の計画を持っているのか。また当初予算では人間ドックの補助制度が廃止となっている。これでは受診の促進どころか、受診者が減ると危惧されるが、なぜこの時期に廃止するのか。

▲健康福祉部長 今回の県の